

いじめに歯止めがかからず、ニユースを見聞きするたびにやるせない思いが募ります。

いじめの実態はケース・バイ・ケースで、大人の目から見えにくいう場合が多くあります。

それでも、わが子や近所の子はいつも注意して見守り、万が一にも不幸な事態に至らないよう最大限の努力をしましょう。

いじめ被害を発見するポイント

はいろいろありますが、①周りを気にしておずおずしている②原因不明の傷や服の破れ、汚れがある③病気でもないのに登校をしぶる④笑顔がなく沈んだりぼんやりしている⑤家から金品を持ち出すといった場合は、注意が必要です。

「いじめは卑きよう。絶対に許さない」など家族で話し合い、見守っていきましょう。

いじめ発見の着眼点

防犯
一口メモ